

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **05220187 A**

(43) Date of publication of application: **31.08.93**

(51) Int. Cl.

A61F 7/00

A61H 9/00

A61H 33/14

(21) Application number: **04024865**

(71) Applicant: **BAIOTETSUKU HEAA:KK**

(22) Date of filing: **12.02.92**

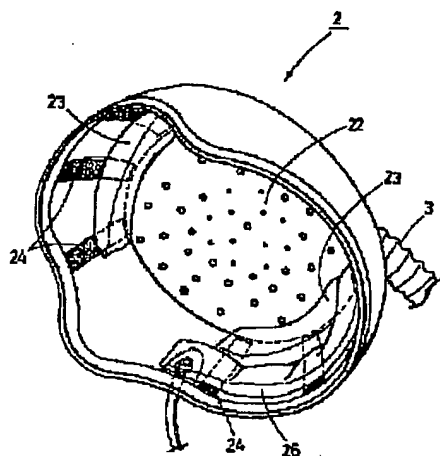
(72) Inventor: **SHIMIZU ATSUSHI**

(54) HAIR GROWTH ASSISTING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide the compact device which can be used in respective homes in place of the conventional large-sized devices relating to the helmet-shaped hair growth assisting device to be put on the head in order to apply a liquid chemical for hair growth on the head skin and to apply adequate stimuli by hot wind thereto.

CONSTITUTION: The air flow contg. the ozone generated by a control body is supplied via a blasting hose 3 to a cap part 2. The air flow contg. the ozone is heated by a heater of a pass type in this cap part 2 and is blown out of a blow-off plate 22 coated with a ceramic coating material for far IR radiation. An air bag 26 and cushion member 23 which can be freely expanded by the operation of an air pump are arranged in desired positions by surface fastener parts 24 in the cap part 2. The device is thus stably mountable to the user's head.



COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-220187

(43) 公開日 平成5年(1993)8月31日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 7/00	3 2 0 F	8932-4C		
A 6 1 H 9/00		8119-4C		
33/14	A	9052-4C		

審査請求 未請求 請求項の数3(全5頁)

(21) 出願番号 特願平4-24865

(22) 出願日 平成4年(1992)2月12日

(71) 出願人 000135634

株式会社バイオテックヘアー

愛知県名古屋市中区金山1丁目14番9号

(72) 発明者 清水 厚詞

名古屋市中区金山一丁目14番9号 株式会
社バイオテックヘアー内

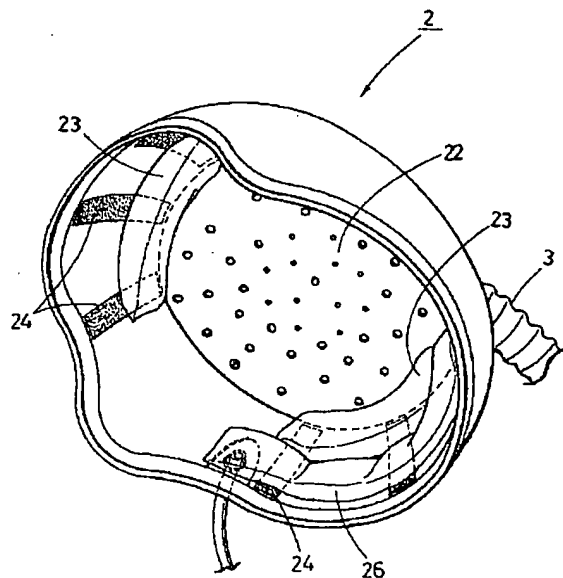
(74) 代理人 弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54) 【発明の名称】 育毛補助装置

(57) 【要約】

【目的】頭皮に育毛用の薬液を塗布し、温風による適度な刺激を加えるために被るヘルメット状の育毛補助装置に関するものであり、従来の大型の装置の代わりに、各家庭で用いることのできるコンパクトな装置を提供することを目的としている。

【構成】コントロール本体にて発生させたオゾンを含んだ空気流は送風ホース3を介してキャップ部2へ供給される。このキャップ部2においては、通過型のヒータ21によってオゾンを含んだ空気流を加温して、遠赤外線放射用のセラミック塗料が塗布された吹き出し板22から吹き出す。キャップ部2の内部には、エアerpンプ27の操作によって膨張自在なエアバッグ26とクッション部材23とが面ファスナー部24によって所望の位置に配設され、使用者の頭部に安定よく装着できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】送風手段とオゾン発生手段とを備えてオゾンを含んだ空気流を発生させるオゾン空気発生手段と、該オゾン空気発生手段とホース及び加熱手段用電源コードによって連結され、且つ前記ホースを介して供給された空気流を加温する加温手段と加温された空気流を内部に吹き出すように構成されたヘルメット状部材とからなる育毛補助装置において、前記ヘルメット状部材の内側に、エアーポンプの操作によって膨張および収縮自在なエアーバッグと弾性材料によって成形されたクッション部材とを備えていることを特徴とする育毛補助装置。

【請求項2】前記クッション部材を前記ヘルメット状部材の内側の所望の位置に取付ける面ファスナー部を形成したことを特徴とする請求項1に記載の育毛補助装置。

【請求項3】前記クッション部材に着脱自在な袋状カバーを被せたことを特徴とする請求項1に記載の育毛補助装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、頭皮に育毛用の薬液を塗布し、温風による適度な刺激を加えるために被るヘルメット状の育毛補助装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、頭部に対する育毛を促進するための処置としては、種々の処置方法が提案されているが、いずれにせよ、頭皮を毛穴までよく洗浄した後に育毛用の薬液を塗布して吸収させることが必要である。そのために最近になって効果的な方法として行われているものは、自立型のスタンドに設けられた業務用のドライヤーと同様の構造のキャップに、温風発生装置とオゾン発生装置とを内蔵したものが用いられている。これは大型であるので、営業用の施術所等に設置されて用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述した従来の大型の装置は、営業用としては適した装置ではあるが、それを設置した営業用の施術所における処置可能な人数には限界がある。しかし、毎日多数の処置希望者が殺到し、従来のような営業用の施術所だけでは処置しきれないという現状である。

【0004】そこで、従来の大型の装置の代わりに、各家庭で用いることのできるコンパクトな装置を提供することを目的として、本発明はなされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明においては、送風手段とオゾン発生手段とを備えてオゾンを含んだ空気流を発生させるオゾン空気発生手段と、該オゾン空気発生手段とホース及び加熱手段用電源コードによって連結され、且つ前記ホースを介して供給された空気流を加温す

る加温手段と加温された空気流を内部に吹き出すように構成されたヘルメット状部材とからなる育毛補助装置において、前記ヘルメット状部材の内側に、エアーポンプの操作によって膨張および収縮自在なエアーバッグと弾性材料によって成形されたクッション部材とを備えるという手段を講じた。

【0006】また、前記クッション部材を前記ヘルメット状部材の内側の所望の位置に取付ける面ファスナー部を形成するとよい。また、前記クッション部材に着脱自在な袋状カバーを被せるとよい。

【0007】

【作用】本発明においては、送風手段とオゾン発生手段とを備えてオゾンを含んだ空気流を発生させるオゾン空気発生手段と、該オゾン空気発生手段とホース及び加熱手段用電源コードによって連結され、且つ前記ホースを介して供給された空気流を加温する加温手段と加温された空気流を内部に吹き出すように構成されたヘルメット状部材とからなる育毛補助装置において、前記ヘルメット状部材の内側に、エアーポンプの操作によって膨張および収縮自在なエアーバッグと弾性材料によって成形されたクッション部材とを備えたので、前記エアーバッグを適宜な大きさに膨張させることにより、使用者の頭の大きさにかわらず快適に装着することができる。

【0008】また、前記クッション部材を前記ヘルメット状部材の内側の所望の位置に取付ける面ファスナー部を形成したので、所望の位置にクッション部材をセットし、使用者の頭の形状等の差異にかかわらず快適に装着することができる。また、前記クッション部材に着脱自在な袋状カバーを被せたので、随時取り外して洗濯することが可能である。

【0009】

【実施例】以下に、本発明の一つの実施例の育毛補助装置を図面に基いて詳説する。図1は前記育毛補助装置の全体を示す全体斜視図、図2は同育毛補助装置の全体の構成を示す構造図、図3は同育毛補助装置のキャップ部の内部構造を示すために内側から見た斜視図である。

【0010】各図において、1はコントロール本体、2はキャップ部、3は送風ホースである。前記コントロール本体1の内部には、送風手段としての小型プロア11、オゾン発生手段としてのセラミックオゾン発生器12、電源スイッチ13、及びタイマー14を備えている。発生させたオゾンを含んだ空気流はホースジョイント15に接続された送風ホース3を介してキャップ部2へ供給される。

【0011】前記ホースジョイント15は空気流をホース側へ供給するホース接続部とキャップ部2のヒータ21へ電源を供給するためのコネクタを備えている。

【0012】前記スイッチ13は、上側へ操作すると前記小型プロア11と前記セラミックオゾン発生器12を作動させてオゾンを含んだ空気流を発生させ、下側へ操

作すると加えて前記ヒータ21も作動させて前記空気流を加温する。前記タイマー14にて設定した作動時間が経過すると、全ての電源を切る。

【0013】前記送風ホース3は自由に曲がるようにフレキシブルホースとなっており、キャップ部2のヒータ21に供給する電源コードも内蔵している。

【0014】前記キャップ部2は図示したように、概略ヘルメット状の形状に成形され、前記送風ホース3と接続するためのホースジョイント25を備えている。前記ホースジョイント25は空気流を受け入れるホース接続部とヒータ21へ電源を受け入れるためのコネクタを備えている。

【0015】キャップ部2の内部の上部には、オゾンを含んだ空気の流れ路に配設された通過型のヒータ21と、加温された空気流を均一に吹き出すために多数の空気孔が設けられた吹き出し板22とを備え、この吹き出し板22には遠赤外線放射用のセラミック塗料が塗布されている。

【0016】そして、キャップ部2の内部には、クッション部材23が適宜配設されている。このクッション部材23は、キャップ部2の内面に縦長に形成された面ファスナー部24の所望の位置に張り付けることができるように面ファスナー部が形成されている。26はエアバッグであり、前記クッション部材23と同様にキャップ部2の内面の後部の面ファスナーの所望の位置に張り付けることのできるように面ファスナー部が形成されている。

【0017】前記クッション部材23及び前記エアバッグ26には着脱可能なカバーが被せられており、取り外して洗濯しやすくなっている。前記エアバッグ26は、エアポンプ27と小径ホースで連結され、エアポンプ27を数回収縮させることにより空気が供給されて膨張する。エア抜きノブを解除することによって空気を抜くと収縮する。

【0018】以下に、上記構成の育毛補助装置の使用形態を説明する。まず、育毛用の薬液を頭部に塗布した後に、本発明の育毛補助装置のキャップ部2を頭部に被せる。このとき、前記エアポンプ27を操作して前記エアバッグ26を膨らませると、頭部の大小にかかわらず安定して装着することができる。

【0019】そして、タイマー14を10分ほどに設定し、前記スイッチ13を下側に操作して、小型プロア11とヒータ21を作動させる。これによって、キャップ部2の内部には温風が10分間ほど供給され、頭皮を適度に刺激する。オゾンを含んだ空気を供給したいときは、前記スイッチ13を上側に操作して、小型プロア11とセラミックオゾン発生器12とヒータ21を作動させることによって、キャップ部2の内部には、オゾンを含んだ温風が所望時間供給され、頭皮を適度に刺激することができる。

【0020】なお、以上の工程に限らず、用いる薬液の種類や、方法に応じて、数回の工程を繰り返してもよいし、送風と温風とオゾンとの組み合わせで種々の空気流を供給することも可能である。

【0021】前記吹き出し板22は、温風によって加温されると、遠赤外線を放射するので、頭皮の表面だけでなく深い箇所まで加温される。なお、前記オゾン発生手段としては、オゾン管やネオン管を用いたものも可能である。

【0022】このように、本育毛補助装置によれば、頭皮に、送風と温風とオゾンとの組み合わせで所望の空気流を供給することができ、育毛用の薬液の効果を優れたものとするのが可能となる。しかも、頭部に被るヘルメット状のキャップ部2と、空気流をオゾンとを発生するコントロール本体1とを分離したので、キャップ部2が軽くなり、従来のようにスタンド型にする必要もなくなった。よって、業務用の装置に比して極めてコンパクトになったので、一般家庭においても、必要な時に取り出して使用し、使用後はコンパクトに収納できるといふ効果も得られる。

【0023】よって、今までは営業用の施術所に出掛けていかなければならなかったものが、各家庭で随時処置できるようになったので、処置希望者は、薬液さえ準備すれば何時でも自分で育毛促進の処置をすることができるようになり、育毛を必要とする人々には大きな福音となるのである。

【0024】また、加温用のヒータをコントロール本体1ではなく、キャップ部2に設けたので、通電後直ちに加温できるとともに熱が逃げにくく、無駄なく加温することが可能となる。また、頭部の大きさは千差万別であるので、このキャップ部2の内側には、膨張自在なエアバッグ26を備えて、頭部の大小にかかわらず安定して装着することができるようにした。更に、クッション部材23とエアバッグ26とキャップ部2の内面とは面ファスナー部によって所望の位置に取りつけることができるようにしたので、頭部の形状の差異に係わらず快適に装着することが可能である。

【0025】また、クッション部材23とエアバッグ26は汚れやすいので、袋状になったカバーを取り外すことによって、随時洗濯することができ、何時までも清潔に快適に使用できるという効果も得られる。また、前記吹き出し板22は、遠赤外線を放射するので、頭皮の表面だけでなく深い箇所まで刺激を与えることが可能となり、毛穴の基底部組織の活性化を促し、育毛効果を促進することができる。

【0026】

【発明の効果】このようにして、本発明の育毛補助装置によれば、膨張自在なエアバッグを備えて、頭部の大小にかかわらず安定して装着することができるようにしたので、誰でも快適に安定よく装着することができる使

5

用感に優れた育毛補助装置を提供することが可能となった。

【0027】また、クッション部材とエアバッグは面ファスナー部によって所望の位置に取りつけることができるようにしたので、頭部の形状の差異に係わらず快適に安定よく装着することが可能となった。また、クッション部材とエアバッグが汚れた場合には、袋状になったカバーを取り外すことによって、随時洗濯することができ、何時までも清潔に快適に使用できるという効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の育毛補助装置の全体を示す全体斜視図である。

【図2】同育毛補助装置の全体の構成を示す構造図である。

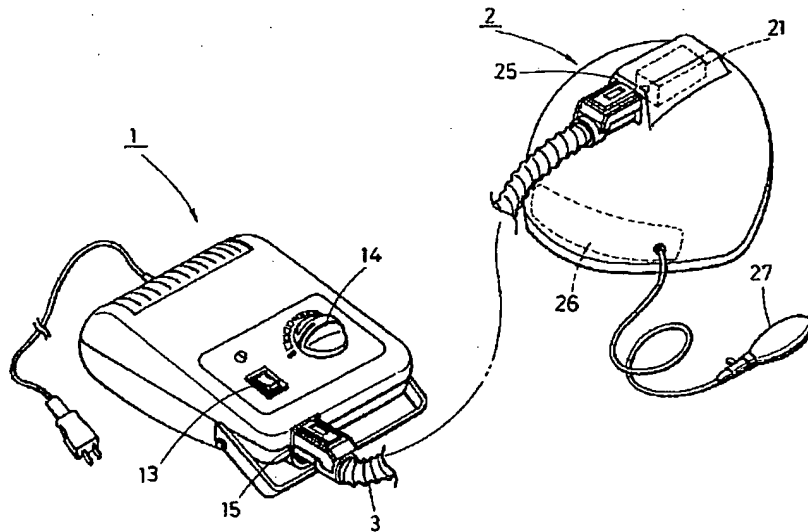
6

【図3】同育毛補助装置のキャップ部の内部構造を示すために内側から見た斜視図である。

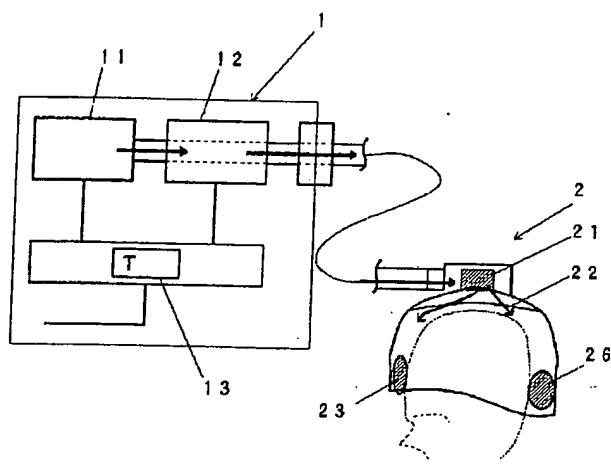
【符号の説明】

- 1 コントロール本体
- 2 キャップ部
- 3 送風ホース
- 11 送風手段、小型プロア
- 12 オゾン発生手段、セラミックオゾン発生器
- 13, 14 制御手段、電源スイッチ、タイマー
- 21 ヒータ
- 22 吹き出し板
- 23 クッション部材
- 24 面ファスナー部
- 26 エアバッグ
- 27 エアポンプ

【図1】



【図2】



【図3】

